



CFOメッセージ



財務の基本方針を守り、 持続的成長を支えます

専務執行役員 CFO
早川 光毅

財務戦略の基本方針

- 1 優位性ある株主配分の継続
(総分配性向60%)
- 2 投資効率やROE目標8%を
意識しつつ成長投資を着実に実行
- 3 経営の安定・ステークホルダーの皆さまからの
信頼のベースとなる健全な財務体質の維持

経験を生かし、持続的成長を 財務の面からバックアップします

CFOに就任しました早川です。私は、エネルギー生産、営業企画、人事などの部門を経験後、電力・ガスの小売りが全面自由化となった過去3年間は、電力・ガスの顧客獲得競争の最前線の責任者として仕事をさせていただきました。厳しい競争の環境下で、いかに当社の競争力を高めていくか、業務の効率化・コスト削減も行いながら、いかに将来の成長につながる分野への種まき(=投資)を進めていくかを日々考えてきました。

財務戦略に関する当社の基本方針は、営業キャッシュ・フローを、①充実・安定した株主配分、②成長のための投資、③健全な財務体質の維持にバランス良く配分することです。私がCFOになっても、この基本方針に変更はなく、私の役割は前述の3点を着実に実行することであると考えています。

今後、エネルギーの自由化の進展に従って、競争激化や業界構造の大きな変化が予想されます。だからこそ、適切な財務バランスを守りながら、株主還元

を実施するとともに、競争を勝ち抜き、安心・安全にエネルギーを供給するための投資をしっかりと実行して、持続的成長を実現していくことが大切であると考えています。

安定した財務基盤を維持しつつ、国内外へ積極投資を行います

投資(設備投資・投融資)に関しては、中期経営計画GPS2020の3年間(2018-20年度)で約1兆円を計画しています。これは前中期計画の約1.5倍の水準です。現在、今後のさらなる天然ガス需要の増加に対応するため、日立LNG基地における2号LNGタンクの建設工事を行っています。同時に、高圧ガスパイプライン茨城幹線についても、2020年度の供用開始を目指して建設工事を進めており、既存の鹿島臨海ラインと茨城～栃木幹線とを接続し、高圧ガスパイプラインのループ化をさらに図ることによって、首都圏全体における供給安定性の向上に貢献するとともに、供給ネットワーク全体の輸送能力を強化します。

加えて、お客さまとつながる基幹システムへの投資を実行していくほか、新たな自社発電所建設の可能性の検討や、さらなる成長を図るための海外への投融資も意義や経済性、リスクを検証し、実行してまいります。

この投資によって、D/Eレシオは一時的に0.9倍(2020年度)まで上昇することを想定していますが、許容範囲であると考えています。また、歴史的な超低金利の中、社債発行の条件も良く、長期(10-40年)・低利率での資金調達を機動的に進めています。

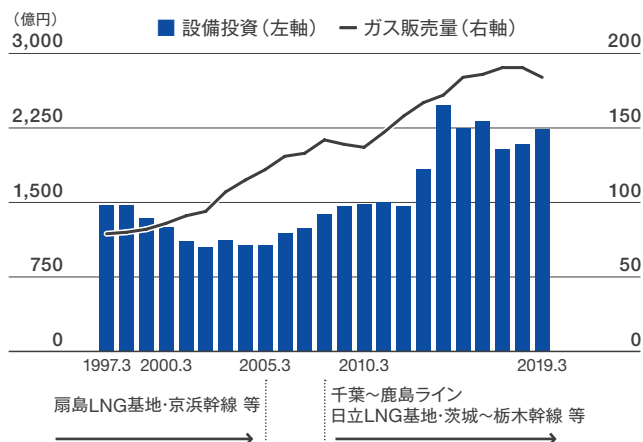
利益率を高めながら、安定的な株主還元を継続していきます

財務面からの最大の課題は、収益性の改善です。現在、株式会社コベルコパワー真岡が栃木県真岡市で建設中の最新鋭の天然ガス火力発電所が完成すれば、より競争力ある電源調達が可能となります。また、電力小売全面自由化から3年経った今も、お客さま獲得のペースは鈍っておらず、この電力事業が将来の利益成長の牽引役になると期待しています。

中期経営計画「GPS2020」では、ROEの目標値を8%程度と定めており、昨年度は7.4%となりました。ROEは一時的な費用投入によって変動するため、目標値を常に意識しつつも、あくまでも長期的に8%程度を目線とした収益体質を構築することに注力してまいります。

株主還元については、2020年度までは、総配分性向60%を維持することを表明しており、配当と自社株取得の適切な組み合わせにより、しっかりとお約束を果たしてきました。前回の増配から3年経ちましたが、「GPS2020」を着実に進める中で経営陣の将来に対する自信が高まってきたこと、配当を増やしても耐えうる財務体質を築くことができたことから、今回、一株当たり55円から60円への増配を決定しました。成長分野への投資をしっかりと実行しながら、緩やかに配当を増やし、株主の皆さまに還元していきたいと考えています。会社としてもCFOとしても、これまで同様に、株主・投資家の皆さまの声に耳を傾け、建設的な対話を通して、企業価値向上に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解・ご支援をお願いいたします。

設備投資とガス販売量の推移



※1 1999年3月期までは個別、2000年3月期以降は連結ベース

※2 2012年3月期以降の販売量はビジョンベース(LNG販売量、トーリングによる都市ガス使用量を含む)

株主還元の推移

